

| | | | | | |
|-----|--------|------------|-----|------|------------------|
| 科目名 | 生活産業基礎 | 学年 | 1年 | 使用教材 | 【教科書】 |
| | | 必修・選必・コース選 | | | 【副教材】生活産業基礎 実教出版 |
| | | 単位数 | 2単位 | | |

学習目標

生活と産業のかかわりについて理解させ、生活に関連する職業などへの関心を高めるとともに、必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を育てる。

学習方法

- 生活と産業とのかかわり、生活産業の意義と役割、生活産業に関心を持ち、それらについての知識を習得する。
- 生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する体験的・主体的な学習により、実践的な能力を身に付ける。
- 職業生活が自己実現につながることを理解し、家庭に関する学科より専門的な学習と卒業後の進路について考える。
- 生活関連分野のスペシャリストとしての必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲を身に付ける。

学習評価

○次の4つ観点に基づき、学年末に5段階の評定に総括する。

| | |
|-----------|---|
| ①関心・意欲・態度 | ○生活と衣生活産業との関わりや関連する職業について関心を持ち、意欲的に学習にとりくんでいるか。 |
| ②思考・判断 | ○衣生活産業に必要な知識や技術、役割を理解し、卒業後、スペシャリストとしての自己実現のプランをたてることができる。 |
| ③技能・表現 | ○生活と産業との関わりや関連する職業、資格取得について調べ、まとめたり、発表することが出来る。 |
| ④知識・理解 | ○専門科目と関連の深い産業や職業があることを理解している。 |

生活産業基礎 学習プログラム (年間学習計画)

| 学期 | 学習内容 | 学習のねらい | 学習活動 【評価方法】 |
|---------|---|--|--|
| 1 学期 | <p>0 生活産業基礎を学習するにあたって</p> <p>1 「生活産業基礎」を学ぶ (1) 私たちの生活と「生活産業」 (2) 「生活産業」のスペシャリストになるために</p> <p>2 生活に対応した商品・サービスの提供 (1) 消費者ニーズの把握 (2) 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 (3) 関連法規生活産業現場見学</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・生活産業基礎を学ぶ目的を理解する。 ・自分の生活とのかかわりから生活産業とはどのようなものか理解する。 ・「生活産業」の従事者に求められる資質や職業観について考える。 ・家庭科の専門科目の関連を理解し、3年間を見通した学習プランを立てる。 ・生活を支える産業の意義と役割を理解する。 ・社会の変化とライフスタイルとの関連について関心を持つ。 ・「豊かさ」とは何かを考え、価値観の現状について理解する。 ・産業構造の変化を理解する。 ・各分野ごとの発展状況を調べ発表。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、実習を通して、生活と産業とのかかわりや生活に関連する職業について学習する。また、専門の学習への動機付けや卒業後の進路意識を深める。 |
| 2 学期 | <p>4 衣生活関連分野の産業と職業 (1) 衣生活の変化と生活産業との関わり (2) 衣生活関連産業の職業と資格</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活関連産業に関心を持ち、必要な資質に気付く。 ・衣生活関連産業の意義と役割を理解する。 ・人々のファッションに対する関心が高まっている実態を理解する。 ・マーケティングリサーチ等を基に、商品の企画や生産、販売方法に関心を持ち、必要な資質に気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> 【学習状況観察】 【ワークシート】 【考査】 【実習】 【課題】 【レポート】 |
| 3 学期 | <p>7 職業生活と自己実現 (1) 職業生活と生きがい (2) 将来の生活と学業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の適性を知り、将来の職業に必要な資質や能力を理解する。 ・将来のスペシャリストを目指した学習プラン作成のための、進路設計について理解する。 ・自己実現に合わせた専門科目の学習への関心を深める。 ・自己課題を明確にさせ「学習プラン」を手直しして総括する。 | |